

既往の被害地震と耐震基準の変遷

被害地震	被害の概要	耐震基準への反映	首都高速の対応状況
関東地震 (大正12年)	基礎の倒壊や傾斜等の甚大な被害	<u>大正15年道路構造に関する細則案</u> ・震度法による耐震設計の導入	完了
新潟地震 (昭和39年)	液状化による下部構造の変状による落橋	<u>昭和46年道路橋耐震設計指針</u> ・液状化に対する設計法の導入 ・落橋防止対策の規定の導入	完了
宮城県沖地震 (昭和53年)	支承部や鉄筋コンクリート橋脚の損傷	<u>昭和55年道路橋示方書</u> ・鉄筋コンクリート橋脚の設計法の高度化(段落し部およびせん断耐力に関する設計法) ・液状化に対する設計法の高度化 ・落橋防止対策の規定の強化	完了
		<u>平成2年道路橋示方書</u> ・鉄筋コンクリート橋脚に対する地震時保有水平耐力の照査の導入 ・連続橋の耐震設計法	完了
兵庫県南部地震 (平成7年)	橋脚の破壊・倒壊等による落橋を含む甚大な被害	<u>平成7年復旧仕様・平成8年道路橋示方書</u> ・兵庫県南部地震のような内陸直下型地震による地震動の考慮 ・橋脚, 基礎等各構造部位に対する地震時保有水平耐力法の導入(従来よりも大きな地震力を考慮) ・落橋防止システムの強化	平成24年度までに完了予定